

2025-26年度 第2650地区スローガン
「未来へつなぐ」

第2650地区 [1961.3.28創立]

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

会 長	山 田 博
副 会 長	安 田 志 郎
幹 事	木 原 常 裕
会報・資料委員長	酒 本 良 司

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時: 毎週火曜日 12時30分 例会場所: 経済会館 3階大ホール
事務所: 〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第20回(通算3060回)2025年(令和7年)12月23日号

本日の例会(12月23日)
クリスマスライブ
コール輪音

次回の例会(1月6日)
落語
落語家 露の新治 様

返ってみました。皆さんは1年間を振り返られて、どのようなことを感じられましたでしょうか。来年もよい年でありますようにお祈りしております。

幹事報告

◎理事会のご案内

12月23日(火)例会終了後

◎委員会別情報集会のご案内

12月16日(火)例会終了後 C班

次年度幹事報告

藤井宏典次年度幹事

◎次年度理事会のご案内

12月23日(火)11時30分から4階小会議室にて

**12月16日の例会報告
会長の時間**

先週、趣味の会ゴルフ大会があり、その後、辻甚にて忘年会が開催され、楽しく過ごさせていただきました。川村委員長をはじめ、委員の皆様には大変お世話になりました。また、この日曜日には奈良マラソンが開催されました。ご参加の皆さん、お疲れさまでした。

今日は年末ということで、今年の関西の出来事を、私なりに振り返ってみたいと思います。

最初に何よりも一番うれしかったことは、高市早苗総理大臣が奈良県選出として、そして女性として初めて総理大臣になられたことです。いつまでもというわけにはいきませんが、今後もできる限り国政の場で頑張っていたきたいなと思います。

2番目としては、大阪・関西万博が大変楽しかったという思い出です。2500万人を超えるというたくさんの参加者がございました。

3番目としては、阪神タイガースが優勝したことではないでしょうか。残念ながら日本シリーズは負けましたけれども、また来年もありますので、藤川監督をはじめ、選手の皆さんには頑張っていたきたいなと思います。

4番目としては、これは大変残念なことですが、茶道の裏千家、千玄室大宗匠がご逝去されたことです。我々ロータリークラブの大先輩として、地区大会などにおいて講演をいただいたことを思い出します。

5番目は、歌舞伎役者の人生を描いた映画『国宝』が大ヒットしたことです。撮影の舞台が主に関西中心であり、観光地としてのブームが今も続いていると聞いております。

以上、私が感じた関西地区の大きな出来事を振り

ゲスト

大越明友様(大越美術刀剣研磨處 卓話講師)

誕生日祝

桑 雅宣会員(12月18日)吉村元嗣会員(12月19日)

結婚記念日祝

杉村喜之会員(12月19日)

創業記念日祝

山本忠行会員(12月21日)

米寿祝

吉村元嗣会員

RI修了証授与

辻 修会員 藤井宏典会員 村島靖基会員

委員会報告及びその他報告

◎高田地区情報集会

射場祥行世話人

12月16日(火)例会終了後、例会場の後方にて臨時の情報集会を開きますので、お忙しいところ申し訳ございませんが、よろしく願いいたします。

◎ローターアクト委員会

川中教正委員長

12月16日(火)12月第2例会としてクリスマス例会を、午後6時30分受付、7時点鐘にて、香芝の下田にございます「味苑」を会場に開催させていただきます。ご出席の程よろしく願いいたします。

1月12日(月)に恒例の葛城山の清掃登山を実施いたします。去年は山頂に雪が積もっておりまして、すてきな景色でございました。最近運動不足だなどという方は、ぜひご参加ください。

◎前年度プログラム委員会

鶴山洋子前年度委員長

今年の春に、井上ひさしさんのお嬢さんである井上麻矢さんが卓話に来てくださいました。その井上麻矢さんが紀伊國屋演劇大賞の特別賞を受賞されました。

4つのテスト [言行はこれに照らしてから]

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

○雑誌・IT委員会

吉岡寛人委員長

先週、オフィシャルサイトに不正アクセスがあり、一時ホームページが見られない状況になりました。土曜日に木原幹事よりご連絡をいただいて、その後早速に対応して、今は見られる状態になっております。12月10日(水)に不正のファイルが埋め込まれた形跡がありましたので、元に戻しております。今後の防止策として、管理者とFTPサーバーアカウントのパスワードを変更いたしました。また、IPアドレスの入場制限をより強化しました。これによって対策はできるかと思えます。出席・欠席のご報告がその何日間か対応できなかったかもしれません。申し訳ございませんでした。

ニコニコ箱

- ・大越明友様、卓話よろしくお願ひします。 山田 博会員
- ・大越様をお迎へして。 安田志郎会員 木原常裕会員 松村實昭会員
- ・大越様、切れ味の良なお話、楽しみにしています。 清水良彦会員
- ・趣味の会ゴルフコンペで優勝させていただきました。ありがとうございます。 吉岡弘修会員
- ・年末調整と誕生日祝をいただいて。吉村元嗣会員
- ・今年、叔父が亡くなったのを機に、来年より賀状のしまいをさせていただきます。皆様には大変失礼いたします。 射場祥行会員
- ・「やまとたかだの第九」無事終了いたしました。たっくさんのご支援をいただき、ありがとうございました。 酒本将稔会員
- ・誕生日祝を頂いて。 林田光治会員
- ・結婚記念日祝を頂き、ありがとうございます。 藤井宏典会員
- ・お誕生日祝を頂いて。 桑 雅宣会員
- ・少し早いですが、今年も皆さんに助けていただきありがとうございます。来年もよろしくお願ひいたします。 高木美香会員
- ・結婚記念日祝を頂いて。 杉村喜之会員 吉田太郎会員 吉岡寛人会員

卓話「刀剣の研磨について」



大越美術刀剣研磨處 大越明友 様
本日は、日本刀、刀剣についてご紹介させていただきます。刀の発祥というのは、古墳時代に始まります。大和が発祥の地となります。大和伝・山城伝・備前伝・相州伝・美濃伝という五箇伝が全国に広まり、刀ができていきました。

刀は、拵え、刀身、柄、鐔(つば)、切羽、鑑(こじり)といった多くのパーツからできています。刀にまつわる言葉もたくさんあり、日常会話の中でよく使われる言葉の中にも、例えば「鍛える」など、日本刀由来のものが多くあります。日本刀というのは、今でこそ博物館などでガラスの向こうにあって眺めるものになっていますけれども、非常に身近にあったものだったことがお分かりいただけるかと思ひます。

残念ながら、一般的な刀のイメージは、怖いとか、何でも切れそうとか、お芝居の影響もあり、とても危険なもののように思われますけれども、実際には刀で物を切るにはかなりの技術が必要です。

日本刀の歴史としては、まずは聖徳太子の肖像画などで腰に差しているようなまっすぐの直刀がありました。直刀では非常に切りにくいということで、だんだん湾曲したものを使うようになっていきます。昔は太刀と呼ばれており、馬上から攻撃するために、刀自体が長くて湾曲していました。そのため、太刀は刃を下にして腰から下げておりました。この様子を「刀を佩く」と言ひます。後年は、時代劇に見られるように、腰に差すようになります。これは、打刀もしくは刀と言われており、時代や戦闘方法によって長さも変わっていき、反りは上にするようになります。

昭和33年に銃砲刀剣類所持等取締法、略して銃刀法ができました。この法律にそれぞれの銃砲刀剣類の法的な定義が書かれています。この第3条に、日本刀は美術品として教育委員会に届けることとされています。刀剣の刃紋というのは、刀鍛冶がよく切れるように作ったものが、結果的に機能美として美しくなつたものです。ただ、文化庁が定める日本刀の定義に合わないものはすべて日本刀扱いされない、銃刀法で取り締まれる刃物になります。

日本刀が美術品として教育委員会の管轄になっているのは、戦後、GHQの取り締まりに対して、これは武器ではなく美術品だという説得が行われたことも影響してあります。制度自体はその頃からあるのですが、今でも未登録の刀はまだ存在しており、蔵から出てきたとか、天井裏から出てきたとかいう話がよくあります。一説には、毎年1万振りぐらいまだ出てきていると言われています。

皆さんのご自宅などでも、もし日本刀が出てきましたら、そのまま持っているとは違反になりますので、登録をしなければいけません。出てきた場合には、最寄りの警察署に連絡していただくと、発見届を発行していただけます。すると、後日、県のほうから検査の案内が来ますので、刀とその発見届を持って登録に行ってください。錆びていて刃紋が確認できないときには、一回、研ぎ師に持って行って、刃紋を出してもらってからもう一回来てくださうということもあるので、そのときにはどうぞよろしくお願ひいたします。

刀の仕事をする刀匠は、刀のパーツや作業ごとに分業されておられますので、非常にたくさんいらっしゃいます。もし刀鍛冶さんに新しい刀を一からお願ひすると、完成までに大体1年から1年半ぐらい時間がかかります。

私がしております研ぎ師は、新作刀を作るときだけではなく、錆びた刀の修復時にも作業をいたしますので、刀にとっての医者でありメーキャップアーティストだと自負しております。

現代では、刀は物を切るためのものではなく、刃紋を鑑賞したり、その生まれた時代に思いを馳せるといった楽しみ方をするものになっています。奈良県にも保存協会がございますので、鑑賞会などにご参加なさってみてはいかがでしょうか。

出席報告	会員総数	出席義務会員数	義務会員出席数	義務会員欠席数	義務会員MU	出席免除会員数	免除会員出席数	免除会員MU	出席率
12月16日	86	55	46	9	3	31	22	0	92.20%
12月2日	86	55	51	4	3	31	23	0	98.71%
11月25日	87	55	49	6	0	32	26	0	92.60%

※食品ロスの削減に努めましょう。(12月2日の弁当残数は1個)